

平成26年2月発行 通巻127号

防災設備

FEBRUARY 2014



平
成
二
十
六
年
東
京
消
防
出
初
式



日本防災設備協同組合

URI <http://nichibou.main.jp/>

平成26年新年賀詞交歓会

***** 日本防災設備協同組合 *****

日本防災設備協同組合の平成26年新年賀詞交歓会は、1月16日、文京区湯島「ホテル東京ガーデンパレス」に於いて80余名が参加、盛大に開催された。大塚専務理事の司会で、藤岡副理事長の開会の辞に続き、永井理事長が年頭の挨拶を述べた。

多数の来賓の中から、代表者に祝辞を戴き、中山監事の乾杯の音頭で祝宴に入った。バンド演奏、ビンゴゲームもあり、歓談のひと時がもたれた。中締めとして千葉相談役の謝辞で盛会のうちに散会しました。



理事長 永井 龍馬



理事長をさせて頂いております永井と申します。宜しく申し上げます。本日はご来賓の方、そして組合員の皆様、お寒い中、それからお忙しい中、ご参加頂き誠にありがとうございます。今、開会の挨拶で午年という話もございました。昨年だいぶアベノミクスということで、景気が上向いているというお話ですけれども、なかなかまだ私どもの所に実感は届いていないのかなと思っています。しかし、気分は上向きになっているのではないのかなと思っています。そこに少し便乗していけば、徐々に良くなって行くのではないかと、ということで私はことしは少し笑顔で、そして、なんか気分がいいなという感じで1年間過ごしてみようかなと思っています。その内にだんだん実感ができるのではないかと考えています。

今日この後、皆様また待望のバンド演奏もあるそうです。中には肩こりに効くような楽曲も用意されていると聞いております。その辺も皆様楽しみにして頂ければと思っています。今日のこの会を期に今年1年、皆様が、元気で、そして景気よくできるようにと考えております。皆様のご協力をお願いできればと思います。今日はありがとうございます。

CONTENTS

平成26年新年賀詞交歓会	2
祝 辞	3
新年賀詞交歓会スナップ	6
平成26年度東京消防出初式	7
教育事業	8
組合員募集中	9

表紙写真／東京ビックサイト「東京出初式」
撮 影 者／松原 宗一

発 行／日本防災設備協同組合
編集人／「防災設備」編集委員会
東京都文京区本郷1丁目15番6号
TEL. 03-3813-9650 (代)
FAX. 03-3813-9460
E-mail (事務)nichiboukyou1@io.ocn.ne.jp
(営業)nichiboukyou2@dune.ocn.ne.jp

祝 辞



東京消防庁本郷消防署
予防課長 加藤 彰



皆様、あけましておめでとうございます。
只今ご紹介をいただきました、本郷消防署、
予防課長の加藤です。

平素から消防行政につきまして、ご理解と
ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

新しい年を迎えて、日本防災設備協同組合
様、ならびに会員の皆様にご挨拶申し上げま
す。

昨年を振り返りますと台風による自然災害
のほかに、長崎市で発生したグループホーム
の火災や、福岡市で発生した診療所の火災な
どがありました。

このような火災の発生を踏まえて、現在、
国ではスプリンクラーの設置基準の強化な
ど、関係法令の改正が進められております。

当庁といたしましては、法令改正の動向な
どを注視しながら、適切に対応してまいり
たいと考えております。

また、東京消防庁独自の取り組みといたし

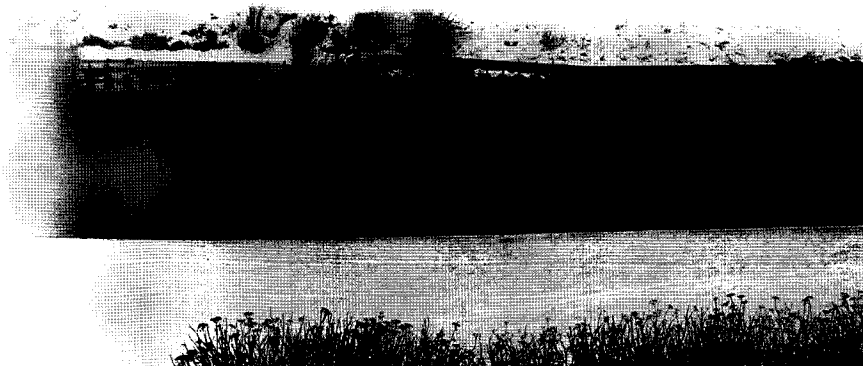
まして、昨年、火災予防審議会から答申され
た内容を踏まえて、高層建築物等の火災発生
時に歩行が困難な方の避難安全を確保してい
くため、一時避難エリアや避難誘導用エレベ
ーターの設置などについて、指導を進めてい
く予定でございます。

当庁といたしましては、都民の安全・安心
の確保を目指して、防火対象物の安全化に関
する各種施策を、ハード・ソフトの両面から
推進してまいります。

皆様におかれましては、施策の趣旨につき
ましてご理解をいただき、今後とも消防行政
に対しまして、ご支援、ご協力を賜りますよ
う、お願い申し上げます。

結びに、貴組合の益々のご発展と会員の皆
様のご健勝ご活躍をお祈り申し上げまして、
ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



祝 辞



新年のご挨拶

一般社団法人全国消防機器協会
会長 北爪 敬治

平成26年輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日本防災設備協同組合の皆様には、平素より当機器協会の業務運営に格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

新しい年を迎え当機器協会会員一同、心を新たにして、信頼される消防機器等の開発・改良と普及に取り組み、社会の安心・安全に寄与するとともに、適切な維持・管理の推進に努めてまいります。

昨年には、検定・自主表示制度の充実強化に引き続き、対象品目の見直し、関係規格省令の改正等が行われ、本年4月1日から施行されることとなっております。

当機器協会では、昨年設置しました「消防機器等製品情報センター」より、会員団体、企業等に対して、研修会等の開催や資料の作成配付を行い、消防法令の改正等の情報を継続的に発信し、私ども消防機器業界と致しましても、消防法令等を十分ご理解し、遵守するとともに、これからも国民が安心して暮らせるための安全な機器を提供し、ニーズにあ

った機器等の開発、普及等に努めることが重要と考えております。

一方、我が国の経済状況も少しずつ成長の兆しが見えてきたと共に、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、今後の展開に大いに期待をしているところですが、機器協会会員一同は、従前にも増して複雑多様化する災害に対応すべく、その役割の遂行に努め、社会に貢献して行くことが責務と認識しております。

結びになりますが、本日、ご列席の皆様のご健勝とご活躍、また関係団体・企業のますますのご発展を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



(代読)

一般社団法人全国消防機器協会

常務理事 鈴木 和男 様

祝 辞



東京都中小企業団体中央会
総務課 主幹 鈴木 篤郎



新年あけましておめでとうございます。只今ご紹介いただきました東京都中小企業団体中央会 総務課の鈴木と申します。本日は日本防災設備協同組合様の賀詞交歓会にお招き頂き誠にありがとうございます。また、本会の事業において常日頃からご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を顧みると、アベノミクス効果により景況に改善の兆しが見え始めたといわれながらも、円安による燃料や原材料価格の高騰などで、厳しい面もあり中小企業の経営にとっては、未だその効果を実感するには至りませんでした。こうした中、2020年のオリンピック・パラリンピックの東京開催決定は国民にとっても明るい話題となり日本列島を歓喜の渦に包み込みました。東京五輪が我が国経済の活性化の起爆剤となり、中小企業にとっても受注機会の増大となりますように期待しています。

本会は、組合支援機関として「会員の皆様から喜ばれるサービスを提供するために！」の行動理念のもと、組合の設立から既存組合の活性化を支援するために各事業を展開しています。現在、既存事業に加え、国の補正予算による新規事業の「ものづくり中小企業・

小規模事業者試作開発等支援事業」に全力を挙げています。

新たな支援事業として、組合が取り組む専門的な技術・技能の継承を支援する「技術・技能継承事業」を立ち上げ、精力的に進めています。また、4月からの消費税率引き上げに対応して、組合の取り組む転嫁対策を支援するため「消費税転嫁対策窓口相談等事業」を実施していますが、国は転嫁拒否などの違反行為への検査・指導の強化と厳正な対処を図っていただきたいものです。

本会としても、組合活性化のために、精一杯皆様のご支援をさせていただき所存でございますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

結びに日本防災設備協同組合の益々のご発展とご臨席の皆様のご健勝を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



新年賀詞交歓会スナップ



開会の辞 藤岡副理事長



乾杯 中山監事



ご来賓各位



バンド演奏(青年部参加)



広江副理事長



閉会の辞 千葉相談役

平成26年東京消防出初式

“絆の力で災害への備え、地域の連携”



出初式の起源は、今から約350年ほど前の江戸時代にさかのぼる。

当時（明暦3年・1657年）に発生した大火の後、時の老中稲葉伊予守が定火消総勢4隊を率いて、1月4日上野東照宮の前で「出初」を行い氣勢を上げ江戸市民を励ましたことに始まる伝えられる。

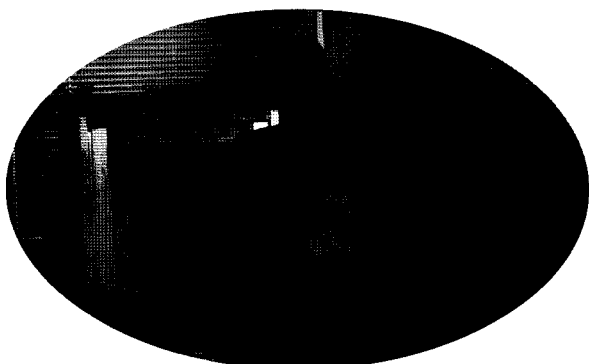
今年も、東京消防出初式（1月6日東京ビックサイト）では、消火・救助・救急演技、消防機械部隊分列行進、江戸消防記念会による伝統の木遣り行進、はしごのり等々が披露された。



教 育 二 事 業

当組合では、防災関連事業従事者の技術者養成、スキルアップのために関係各位のご協力を得て教育事業を実施している。

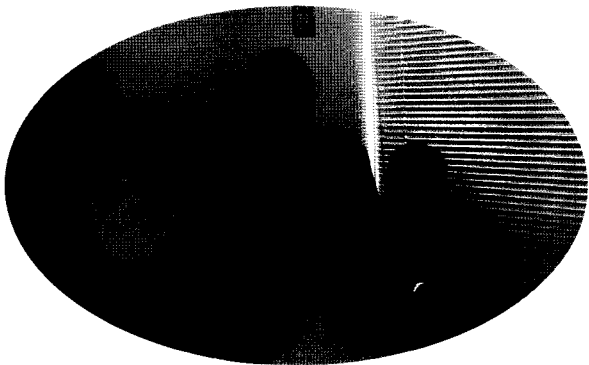
例年、消防設備士受験準備講習会をおこなっているが、今年度は建築設備家懇談会並びに防排煙設備及び火災報知機メーカーのご協力を得て、平成25年9月10日「**防排煙設備実務講習会**」をも実施した。(使用テキスト：日本防災設備協同組合・防排煙設備検討委員会発行「防排煙設備実務必携Ⅰ」)



永井理事長



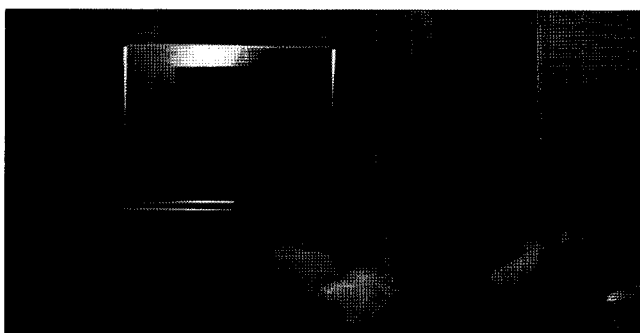
講師・広江副理事長



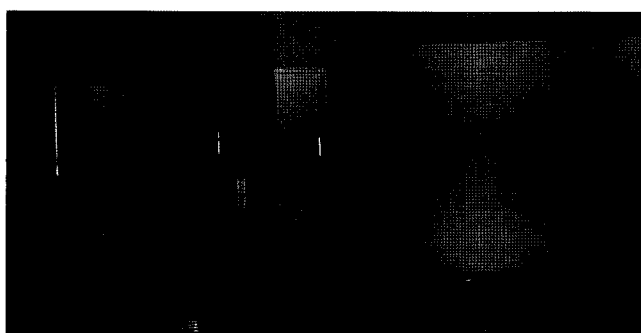
磯部教育担当理事



講師・オイレスECO(株) 犬飼部長



(株)山下設計 副部長 齋藤一彦氏



組 合 員 募 集 中

1. 名 称

日本防災設備協同組合

2. 趣 旨

当組合は中小企業協同組合法に基づき、国土交通省(旧建設省)の認可を得た事業協同組合です。組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な協同事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図ることを目的としています。(組合定款第1条)

3. 地 区

現在加入組合員の地区は、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・新潟県・静岡県・愛知県・岐阜県・岡山県・宮城県・大阪府及び北海道の区域です。(組合定款第3条)

4. 事 業

消防施設工事用及び点検設備用資材の共同購買を主体として、共同受注、研究・開発、教育・講習、情報提供、親睦・レクリエーション・福利厚生等の事業を行っている。(組合定款第7条)

5. 組合員加入資格(組合定款第8条)

消防施設工事又は点検設備を行う小規模の事業者であること。

6. 加入申請等

- (1) 提出書類 加入申込書 会社経歴書 登記簿謄本
- (2) 費用 出資金(1口、1万円)3口以上・加入手数料1万円
- (3) 申請に必要な書類が提出されると、理事会で承認、不承認を決定し、申請者に通知します。なお、組合員になった場合は、賦課金(組合費)として毎月6,000円を3ヶ月ごとに納入して頂くことになります。

7. 募集期間

随時、事務局で受け付けています。申請書及び「組合員のしおり」を希望する方は、事務局へご連絡ください。

8. 沿 革

・所在地 東京都文京区本郷一丁目15番6号 MKビル2階

事務局 電話(03)3813-9650 FAX(03)3813-9460

E-mail nichiboukyoul@io.ocn.ne.jp URL <http://nichibou.main.jp/>

・設立年月日 昭和38年10月31日

・認可年月日 昭和39年1月22日、建設大臣

・組織(現在) 関東を中心とした17都道府県・組合員130社 事務局 専従職員5人

修理・調整・交換工事

排煙口、排煙窓、防火ダンパー

設備点検 特殊建築物調査

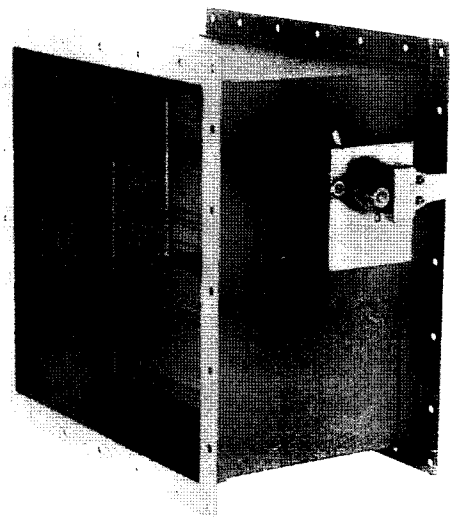
厨房ダクト・フード・グリスフィルター清掃



有限会社 ダンメン

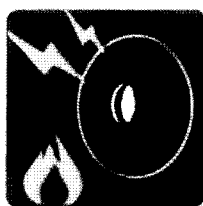
東京都文京区後楽2-2-10

☎ 03-5689-3551



あれも、これも、みんなホーチキです。

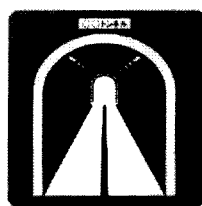
ホーチキは自動火災警報システム、消火システム、トンネル防災システム、ネットワークシステム、出入管理システムなどの研究/開発・製造/販売・設計/コンサルティング/エンジニアリング・施工及びメンテナンスを行う会社です。



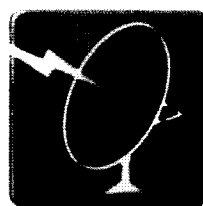
火災警報システム



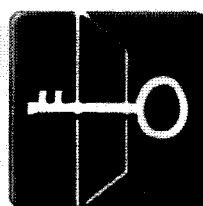
消火システム



トンネル防災システム



ネットワークシステム



出入管理システム

火災警報・消火・トンネル防災・ネットワーク・出入管理など各種システムの製造、販売、施工、保守

ホーチキ株式会社

本社 〒141-8660 東京都品川区上大崎2-10-43 TEL03(3444)4111 FAX03(3444)4118
<http://www.hochiki.co.jp>

◎消防設備の保守点検業務、消防設備工事における法律上の損害賠償をカバー

「団体賠償責任補償制度」

(請負業者賠償責任保険＋生産物賠償責任保険)

◎役員・従業員のおケガを24時間幅広く補償

「団体傷害保険」

(普通傷害保険)



上記に関するお問い合わせは、組合事務局または下記の取扱い代理店へご連絡ください。

[取扱代理店] 株式会社 サンリビング
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-5-6
第10中央ビル三洋化成工業(株)内
TEL03-3241-1761/ FAX 03-3241-1930

[引受保険会社] 三井住友海上火災保険株式会社
〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-11-1
TEL03-3259-3990 / FAX03-3291-4684



連結送水管 耐圧性能点検やります

平成19年7月現在で既に3000件を越す点検実績

業界随一の実績と品質を誇るプロサスだからこそ出来る

トータルサービス

事前改修に対応

あらかじめ不良のある事が予想される物件では、不良箇所等の事前改修を行ってから点検を実施することで、不慮の事故を未然に防止する事が出来ます。

有資格者による点検

経験豊富な消防設備士、消防設備点検資格者が実施する安心な点検です。

ホースの耐圧点検・交換も実施

弊社はメーカーとの直接取引による豊富な販売実績がありますので、非常にお得な価格でのご提供が可能となります。

A-2級水槽付ポンプ車を使用

実際の消防ポンプ車と同じA-2級水槽付消防ポンプを装備した検査測定車を使用し実施する誰もが納得できる点検です。

改修工事の見積・施工を速やかに実施

不良が見つかった場合でも、他業者を捜すことなくそのまま弊社にお頼みいただけます。

もしもの時も安心

点検中の過失による事故等に対しましては最高限度額2億円の損害賠償保険が適用されますので安心してご依頼ください。

《トータルサービスの内容》

基本サービス

耐圧性能試験 / 点検票の作成 / 不良時の原因調査

オプションサービス

事前調査 / 空気圧予備試験(乾式のみ) / 放水試験 / 不良箇所の改修、修理 / ホースの耐圧性能試験 / 点検現場写真

《お問い合わせはこちら》



株式会社 **プロサス** 担当：桜井・萩原

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町557番地

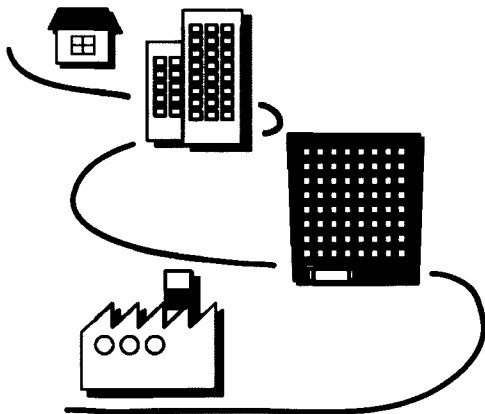
Tel 03-5272-9994 Fax 03-5272-9797

setsubi@prosus.co.jp

http://www.prosus.co.jp

NOHMI

安全の未来を〈形〉にする能美防災



都市生活と同じように、休むことなく稼働し続ける防災システム。私たちの生活を守るこれらのシステムは、24時間動き続けるいわば都市の心臓部。いつも安心して快適な毎日の生活のためのネットワーク・システムを実現します。

能美防災株式会社

<http://www.nohmi.co.jp/>

本社 / 〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3

TEL.(03)3265-0211 FAX.(03)3263-4948

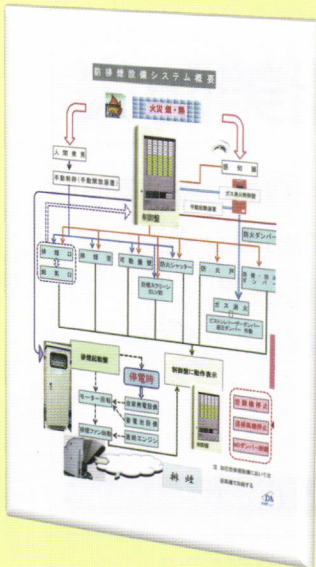


待望の発刊!

好評発売中!!

防排煙設備 実務要領 I

現場に即した観点から構成した、現場の即戦力となる実務書完成
今までにない わかりやすさで 豊富なカラー写真 図解 表を用い
防災設備の中でも 建築基準法に基づく 防排煙設備の全体像を明かし
シリーズIでは 特に防火ダンパー・排煙関連の詳細を解説しています



3-2 防煙・防火ダンパーの構造、作動器特性

防煙・防火ダンパー(SFD)の基本構造は、作動器以外防火ダンパー(FD)と同じである。大きく異なることは、連動制御盤から遠隔制御が行え、作動表示され常時監視ができることである。SFD作動器の定格電圧は、現在においてDC24Vが主流である。過去にはDC48V仕様もあったが、現行の自動火災報知設備がDC24Vであり、連動制御盤も同一仕様であることから統一されている。

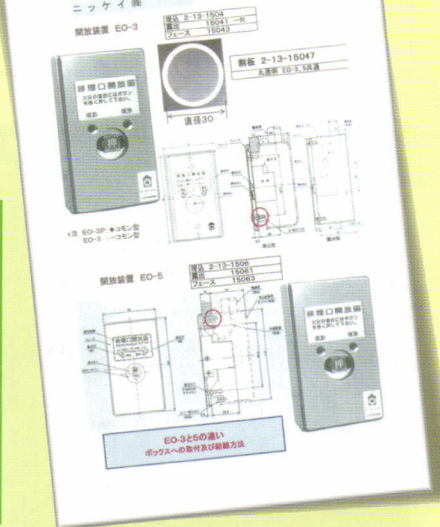
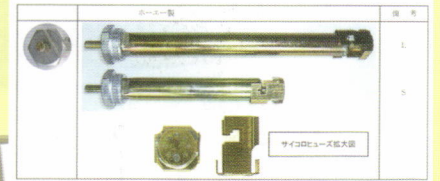
作動時の電気定格及び作動トルク並びに復帰時の電気定格及び復帰トルクについては、製造者により違いがある。

ダンパーが一系統で複数台設置されている場合、同時作動或いは順送りなどで配線されるのでSFD作動器の電気的特性を把握する必要がある。

(1) ソレノイド作動、手動復帰式

丸型150φでカチオン電着塗装施したモデル。この器具の軸が10φである。小径のダンパーであるためこの径になっているが、一般的には13φが用いられ12.7φのものもある。作動器交換時には注意点である。

ソレノイド作動の場合は、作動信号を受けてほぼ瞬時に作動する。この面では防煙・防火ダンパーの特性上好ましい型式である。



これまで理論等に重点をおいた解説書はでていますが、本書のような実際の部材に基づくもの或いは設置現場からの観点での解説書は、類を見ません。
部材によっては、細部まで説明し、又温度ヒューズや手動開放装置並びに保護板については可能な限り網羅して、資料として活用できるよう配慮しています。

編集：日本防災設備協同組合 防排煙設備検討委員会
発行：日本防災設備協同組合
TEL 03-3813-9650 <http://nichibou.main.jp>
定価：4,000円+税

取扱い